

（公財）中村元東方研究所／東方学院

東方だより

令和4年度後期号（通号第41号）

明惠上人のこと——その一

—理事長ご挨拶にかえて—

藤井教公理事長

日本の佛教者の中で、妙に心に残るというか、気になる印象を受ける人々がいる。それはその佛教者の到達した宗教的精神の高さによるものであつたり、純粹性であつたり、あるいはその行いの奇矯さであつたりするが、それらの原因によつて普通の人とは異なる印象を醸し出している人々である。筆者にとつてそのような印象深い佛教者の一人に明惠上人がいる。今回、彼について感ずるところを二回に分けて記してみたい。

明惠上人（1173～1232）は、平安末から鎌倉時代にかけての有名な佛教者であるから、彼を知る人は多いと思う。彼は伊勢平氏の武士、平重国を父に、紀伊国有田の豪族、湯浅氏の娘を母に、紀伊国有田で生まれた。ちなみに、浄土真宗を開いた親鸞と同年の出生である。明惠は後に『摧邪輪（ざいじやりん）』を著して菩提心の重要性を説き、念佛往生思想を批判して親鸞とは正反対の思想的立場に立つている。

明惠は数え年8歳で両親を喪い、翌年、母方の叔父、上覚を頼つて京都高尾山神護寺に入つた。ここで『俱舍論頌』や『華厳五教章』、悉檀などを学び顕密双修の修行をし、16歳で上覚について出家した。この年に東大寺戒壇院で具足戒を受ける。後には上覚の師、神護寺住持の文覚にも学んでいる。

明惠は引き続き華嚴教学を学び、奈良の東大寺にも足かけ2年に亘つて住し明惠は、同寺における党派間の争いに嫌気がさして、俗縁を去つて山林に交わる決意をしたという。それで23歳の時、彼は高雄を出て紀州白上（しらかみ）の峯に庵を結んだ。3年後に一旦、高雄に帰るが、再び白上に戻り、「信」と「智」を得るためにひたすら文殊師利菩薩に祈つたという。そして自身の覚悟を確認するために右の耳を自ら切り落としたという。狂氣のせいではなく、仏道修行への不退転の決意を示すものであつたという。そのような修行の成果として彼は文殊師利菩薩の金色に光り輝く好相を空中に見ている。（続く）

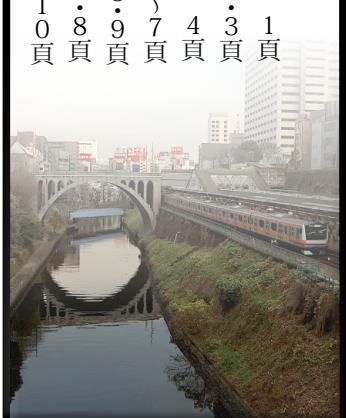
〒101-0021
東京都千代田区外神田2-17-2
延寿お茶の水ビル4階
TEL: 03-3251-4081
FAX: 03-3251-4082
<http://www.toho.or.jp>
<https://www.toho-gakuin.org>

目次

理事長ご挨拶	1頁
評議員・理事ご紹介	2・3頁
芳名録	4頁
講師紹介・研究会員・研究員の声	5～7頁
行事イベント報告・今後の行事	8・9頁
新刊紹介	2・3・4・8頁
事務局通信	10頁



紙本着色明惠上人像〈高山寺藏、国宝〉部分



明恵は宗教的感応力に勝れた人であつたようで、驚くのは仏菩薩あるいは日本の神々と明恵自身との距離の近さである。弟子の喜海の『明惠上人神現伝記』によれば、明恵は30歳の時、白上の峰から母方の在所に移り、保田庄星尾（ほしお）に滞在した。その翌年の正月に、春日明神が叔父湯浅宗光の妻、橘氏に憑依したという。午の刻（昼ころ）に、橘氏が神懸かり状態になり、新しい筵を乞うて鴨居に懸け、忽ちその上に昇つて次のように言つた。

「私は、これ春日明神なり、御房西天の修行を思立しめ給ふ、この事とぞめ奉らんがために降れるなり」と。

ちょうどどの頃、明恵は弟子の喜海らと共にインドの仏跡巡礼を企てており、長安からインドの王舎城に至る旅程の検討をしていたところだつた。春日明神はこの明恵のインド行きを思いとどまらせるために出現したのである。一度だけでは虚実が知られないと明恵が善財善知識の図像の前で祈ると、春日明神は再び橘氏を依り代にして現れて、インド行きを翻意するように促したのであつた。

この二度に亘る春日明神の託宣に明恵は隨い、インド行きを断念した。春日明神は明恵にとつて特別な神である。弟子の高信（こうしん）が「上人託胎の時より、殊に擁護を致し、遂に託宣に及ぶ。種々の契約有り。故に之を勧請す」と記しているように、明恵が「託胎の時より」擁護を受けていた守護神であつた。つまり、明恵にとつては日本の神祇の一つ春日明神が、いわば生まれついてより極めて身近な存在として意識されていたということである。それは明恵の仏教の教學思想に関わる観念的な存在としてあるのではなく、「託宣」や「種々の契約」という、実際に明恵自身の意識や行動に大きな影響を与える具体的な存在としてあつたのである。（続く）

評議員・理事ご紹介

評議員就任から今まで

和田壽弘 評議員



研究所の評議員のお話をいただいたのは、2016年春のことでした。前理事長の前田専學先生より職務内容を伺つて、その重責をとても果たせるとは思えず、ご辞退するつもりでお電話を差し上げました。先生は逆に大いに励まして下さり、先生のお言葉に納得してお引き受けすることとなりました。同年6月以来、4年任期の2期目を務めています。

2期目の直前に長年勤めた大学を定年退職しました。大学奉職中には、文部科学省に提出する書類の作成や確認をする職務を一時期担いました。論文とは異なる文体に翻弄された日々も懐かしいのですが、退職後はこのようないうな職務に縛られずに勉強したいという思いから、再就職は念頭にありませんでした。研究所の評議員会ではその運営方針など重要な議題もありますが、書類形式の確認などではかつての経験が役立つていると思うこともあります。貢献できるかもと感ずるようになります

た。

研究面では、昨年1月に初の日本語単著『インド新論理学派研究序説』（春秋社）を上梓しました。新論理学派の研究方法や主要な専門術語の機能を明らかにすることを通して、インドの伝統的思考の解明を目指しました。次は、論理学研究と平行してこれまで従事してきたこの学派の言語論研究の成果をまとめ英語で近いうちに刊行したいと思つています。この2年程は学派初期の存在論と認識論の両者に関わる主題、特に非存在あるいは否定の研究にも力を注いでいます。この学派の存在論・認識論や言語論が何らかの点で我々の哲学・思想と接点を持ちうるのではないかという期待を込めて、研究を続けています。

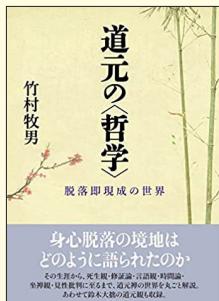
2022年3月より藤井教公先生が前田専學先生の後を引き継いで理事長に就任されました。新理事長の下、故中村元先生の高邁な理想を実践に移すべく設立された研究所の活動が、コロナ禍に負けず一層発展できますよう願うばかりです。そのために、微力ではありますですが評議員としてお役に立ちたいと思います。

わだ としひろ

1954年岐阜県大垣市生まれ。名古屋大学卒業、ブーナ大学大学院（インド）修了。名古屋大学助手・助教授・教授、この間に同大学大学院文学研究科長・文学部長。2020年に定年退職。現在名古屋大学名誉教授。

新刊案内

竹村牧男著『道元の〈哲学〉—脱落即現成の世界』



身心脱落の境地はどのように語られたのか。道元の生涯から、仏教の根本問題ともいえる生死の見方、宋にわたるきっかけともなる本覚思想への疑問に対する修証観、不立文字の禪において『正法眼藏』を書き続けた背景にある言語観、存在と密接に関係する時間論、脱落即現成の世界と坐禅觀、見性批判を丸ごと解説。あわせて鈴木大拙の道元觀も論じる。第1章 道元の生涯、第2章 道元の生死觀、第3章 道元の修証論1、第4章 道元の修証論2、第5章 道元の言語論、第6章 道元の時間論、第7章 道元の禪哲学—「脱落即現成」の理路、第8章 道元の坐禅觀、第9章 道元の見性批判をめぐって、第10章 鈴木大拙の道元觀

単行本：320頁
出版社：春秋社
発売日：2021年6月20日

ISBN-13：978-4-393-15232-4
言語：日本語
定価：本体3,520円（税込）

インスピレーションから トランスフォーメーションへ

比良竜虎 理事



今年2023年は
中村元東方研究所創立50周年、そして昨年
2022年はインド独立75周年、日印国交樹立70周年にあたりましたが、2023年4月まで様々な記念行事・祝祭が予定されている中、長らくコロナの影響によつて途絶えていた、日印双方の識者、研究者、靈性探求者が相互に渡航できるようになつたことは大きな喜びでございます。

一方、このような社会情勢の中で、遠隔にあつてもITリモートで様々な会議、法要、式典なども行われるようになつてまいりました。インターネットを通じて、私たち一人ひとりの「インナーネット」（ハートの結びつき）をいかに構築していくかも大きな課題です。まさに、現代は、人々の意識や価値観が大きく変化する時期であり、政治、経済、教育などあらゆる分野において、その変容が余儀なくされていく過程にあります。この大いなる社会変革において中村元先生の提唱されたいたサナタナダルマ（永遠なる真理）こそが、

その羅針盤でなければなりません。

グルの家に住み込んで、その人格から学ぶというインドのグルクラのような精神的環境と、あらゆる垣根を超えて靈性の探求者の誰もが学ぶことの出来る日本での現代の寺子屋の精神を併せ持つた、この中村元東方研究所の役割は、現代の多くの人々へのインスピレーションの源として、このような今にあつてこそ甚大であると確信しております。

中村元先生にお会いした時を回想すると、中村先生のお人柄、その生き方はとても敬虔で、日々の暮らしの中に教えが満ちていると実感致しました。

制度や枠組みを変えていくことも大切である一方、人の心の変容によつて、社会もまた自ずと変容していくのだ、と教えてくださつてているようでした。

心に正義があれば、人格に美しさが現れる
人格に美しさがあれば、家庭に調和が生まれる

る

家庭に調和があれば、
国家に秩序が生まれ
国家に秩序があれば、
世界に平和が生まれ
世界に平和が生まれ
る。

（聖者サティヤサイバ
バ様のご高話より）

ひら りゅうこ

1948年インド生まれ（1976年日本国籍化）。HMI ホテルグループ代表取締役社長として28都道府県において62軒のホテルを所有・経営する一方、多数のインド哲学の著書を翻訳・出版。公益社団法人在日印度商工协会会长、公益財團法人日印協会理事等を歴任。2022年、インド共和国の民間功労者に叙勲される最高位勲章「バドマ・シュリ勲章」を継承。

新刊案内

浅野孝雄著 『〈改訂版〉心の発見—ブッダの世界観—五蘊・十二縁起の脳科学的解釈』



2014年、前著「心の発見」刊行後、著者はNHK・Eテレ「心の時代」での対談、日本脳神経学会、日本インド仏教学会等など十指に余る学術講演に招聘された。現代日本人が「心」に高い関心を抱いていることの証左である。改訂に当たっては新たな学びも盛り込んだ。
序論、第1部 現代脳科学とフリーマンの意識理論、第2部 情動神経科学、第3部 古代インドにおける世界観、第4部 ブッダの教説、第5部 ブッダの世界観

単行本：375頁

ISBN-13：978-4-7828-0181-9

出版社：産業図書

言語：日本語

発売日：2022年5月14日

定価：本体4,400円（税込）

本年度も多くの皆様にご支援いただきました。心から御礼を申し上げるとともに、ご芳名を記します。

※令和5年1月20日受領分までを掲載しております。

令和4年度芳名録（五十音順・敬称略）

維持会員

一心寺 石上和敬 宇杉真 小笠原勝治 川崎寿子 川崎大師平間寺 来馬明規 高応寺（三友健容） 公益財団法人克念社 宗教法人西来寺 株式会社山陰中央新報社 史跡足利学校事務所 清水谷善圭 穂悟震 株式会社春秋社 淳心会（日野紹運） 末廣照純 浅草寺 高尾山薬王院 高橋堯英 高松孝行 多田孝文 中央学術研究所 トヨタ自動車株式会社 中田直道 成田山新勝寺 念法眞教金剛寺（桶屋良祐） 藤井教公 公益財団法人仏教伝道協会 法恩寺（藤原淨峰） 法清寺（奈良修二） 前田専學 前田式子 松久保秀胤 三木純子 水野善文 学校法人武蔵野大学 吉田宏哲 渡邊信之 渡邊隆生

賛助会員

秋葉佳伸 阿部敦子 栗野芳夫 飯高淑子 石井勝彦 石井敏明 井上和子 今西順吉 入井善樹 石上智康 白井ふじ子 遠藤康 大井玄 太田正孝 大谷光真 小笠原隆元 岡田真水 岡田行弘 緒方康信 桂紹隆 加藤みち子 菅野博史 岸寶瑠 北村彰宏 木村清孝 三石造形芸術院 倉田治夫 黒川文子 黒田大雲 小林和子 小林正和 小林守 小峰啓誉 古村けさじ 斎藤明 斎之平伸一 佐久間留理子 櫻井瑞彦 櫻井隆広 櫻井俊彦 佐藤行教 慈光院（戸田忠） 真觀寺（中村重継） 末木文美士 須佐知行 鈴木一馨 鈴木忠一 鈴木勇介 関戸堯海 高橋審也 田上太秀 武田浩学 立花ひろ子 田中勝洋 田中ケネス 田丸淑子 千葉よし子 鶴谷志磨子 天寧寺（永江雅邦）當間哲也 公益財団法人東洋哲学研究所 一般財団法人徳育経営研究所 戸田裕久 烏山玲 中谷信一 長野市南長野仏教会 中村行明 中村久夫 西内之朗 西尾秀生 西岡祖秀 西川高史 西宮寛 日本ヨーガ禅道院 長谷川恵子 長谷川善永 畠中光享 花岡秀哉 馬場孝至 羽矢辰夫 净土真宗東本願寺派本山東本願寺（大谷光見） 引田弘道 一月正人 平井恭子 笛木敬代 福重利夫 福留順子 福原正直 藤井知興 藤田宏達 宗教法人法雲寺（水谷浩志） 審帳院（原隆政） 保坂俊司 堀江順司 堀越教之 松浦和也 松本知巳 三木保 水谷俊一 宗教法人密蔵院（山口正純） 三友量順 宮元啓一 森祖道 宗教法人薬師院（松原光法） 矢島浩志 矢島道彦 山口泰司 桂徳院（山本文渕） 由木義文 好井瑞咲 渡邊寶陽 和田壽弘

ご寄付

岡村光展 穂悟震 株式会社山陰中央新報社 株式会社春秋社 田辺和子 長谷川善永 比良竜虎 公益財団法人仏教伝道協会 松久保秀胤 松本照敬 御園生妙子 三友健容 吉田宏哲

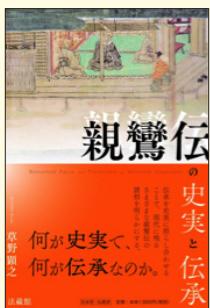
東方学院創立50周年記念事業ご寄付

総本山四天王寺 加藤公俊 奥田聖應 森田俊朗 瀧藤尊淳 健代和央 南谷恵散 塚原昭應 宮崎光映 吉田明良 廣瀬善重 坂本峰徳 森田惇朗 瀧藤康教 山岡武明 加藤公啓 新井順證 今宮戎神社 律宗総本山唐招提寺 念法眞教 学校法人清風学園 平岡英信 古泉圓順 大神神社 宗教法人東大寺 四天王寺大学

石上善應 石上源應 龍口明生 佐藤恭子

新 刊 案 内

草野顕之著 『親鸞伝の史実と伝承』



何が史実で、何が伝承なのか？人々は親鸞のどのような姿を後世に伝えようとしたのか。親鸞の史実と伝承をめぐる問題について、伝承を史実に照らし合わせることを通して、現代に残るさまざまな親鸞伝の諸相を明らかにする。

単行本：249頁

ISBN-13：978-4-8318-6271-6

出版社：法蔵館

言語：日本語

発売日：2022年10月25日

定価：本体2,090円（税込）

東方学院
研究会員の声

鶴田佐知子さん
(東京本校)

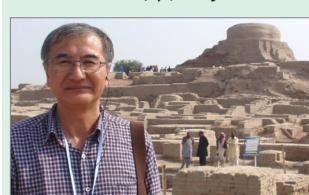


質問したと思うのですが……語学、美術、宗教と、興味の赴くままに様々な授業を受講させて頂いておりますが、先生方には質問に毎回丁寧にお答え頂き感謝致しております。本当に、これからという若者たちが先生方の教えを受け触発されて次世代の研究へ繋がるべきところですが、現代社会では難しく、でも、お陰様で私たちリタイア世代も勉強する機会を与えられ幸せい感じております。コロナでは、有り余る時間の中、原始仏教訳本を開いたり、自分の一生の中で手に取ることがあるとは思えなかつた本を読んだりもして、全て素人にも丁寧に分かり易くお教え下さる先生方のおかげと思っております。又、オンライン授業はシニアの多い東方学院では無理では？と思いましたが、お休みされる方もおいでの方で新しく遠方から参加の方もいらして驚きました。



中村元先生のお言葉と真摯な生きざまが、しっかりと根づき、継がれていると感じています。

一方で哲学や科学と宗教はやはり決定的な違いがあり、仏陀の無記に仏教の大きな意味があるとも考えております。これを「わからぬ」と答えたたら哲学や科学の側に立つことになります。



モヘンジョダロにて。後ろに見えるのはインダス文明の遺跡の上に後に造った仏塔の跡

無断転載・複製を禁ず

(東京本校)

廣野良和さん
(東京本校)

東洋に西洋論理と違う論理があるのかとの興味で林慶仁先生の「仏教論理学入門」を受講し初めて仏教論理学に接し、その世界を興味深く垣間見させていただいています。理解には遠いものの、論理自体は対象化できないのであれば、その違いを問うことは無意味であり、違いは言語ゲームならぬ論理ゲームの運用の違いではないかと思つた次第です。

さらに仏教へ科学からアプローチする手法への興味から、浅野孝雄先生の「現代脳科学と仏教心理学」を受講しております。十二縁起を最新脳科学と意識理論から説明する独自のアイデアは革新的でした。

先生の手法を踏まえ、自然科学と人文科学（そして宗教へ）とを橋渡しするプロトコルが発達すれば（圏論は興味深い）、より学際的な議論が活発になると想像しています。

一方で哲学や科学と宗教はやはり決定的な違いがあり、仏陀の無記に仏教の大きな意味があるとも考えております。これを「わからぬ」と答えたたら哲学や科学の側に立つことになります。

そんなふうに東方学院に通い、刺激をいたしている日々です。

清水徹朗さん
(東京本校)

インドと西洋の思想交流

私は日本の歴史、思想、文化、道徳（倫理）に大きな影響を与えてきた仏教とは何なのかを知りたいと思い、これまで様々な本を読みながら、学問は全ての人に開かれているという中村元先生のお言葉と真摯な生きざまが、しっかりと根づき、継がれていると感じています。

また、インド哲学や仏教が欧州の哲学者に与えた影響も重要であり、この問題は中村元先生が生涯追及したテーマでもありました。その仏教思想を本格的に学ぶことができる東方学院は貴重な存在であり、今後のさらなる発展を期待しています。

研究員の声

有賀弘紀 専任研究員

研究の拠点として



専任研究員として、東方学院で活動するうえで、何よりも重要な拠点として、この「東方」がある。ここにいる多くの研究者たちが、常に新しい視点や知識をもたらす存在であり、その影響を受けながら、自分自身の研究を進めていく。また、この「東方」は、常に学術的な議論や討論が行われる場所であり、そこでの経験は、自分の研究に対する理解を深め、成長させる大きな力となる。この拠点としての「東方」は、とても貴重なものである。

初めて研究員になつてから27年になります。途中、所属の変更や研究員に関する名称変更等がありました。しかし、研究活動の拠点とさせていただきました。また、一般的な研究機関にはない学院が設置されていて、平成16年より講義を一コマ乃至二コマ担当させていただいている。

思えば、東方学院ではいろいろな学術上の刺激をいただきました。講義を受講される方は「研究会員」であるという創立者中村元先生の意図どおり、サンスクリット語と古代ギリシャ語の接触に関する持論をご披露いただいたこともあります。また、ゲーテの『西東詩集』やケンペルなどとの関連についての見解をいただいたり、理系論文の翻訳語の問題を紹介してい

等々、他では得難い知見や視点に触れることができました。

現在、サンスクリット語の詩を講読しています。何年もかけて読み進めてきた作品ですが、今年度はかなり丁寧に注釈に目を向け読みます。何年もかけて読み

よつと強引ではと思うような解釈よりもとも、それはこういうことなのだ、といつてはいるに相違ないのですが、一に、文法学的な議論に接し始めたころ先輩方から聞いた「理の虚構性」や「叙述的」といった言葉が思い出されました。また、広い分野でやりたいことが出てくるなど、新たな刺激を受けています。

新型コロナウイルス感染症の出現から3年が経ちましたが、創立当初から尊重されてきた学際性豊かな場としてたくさん交流ができると願っています。

石川巖 専任研究員

学問的驚きの表出に向かっての抱負



50歳半ばに至ったせいで、か、最近、一人でぼんやりとするようなおり、過去を回想してしまうことが多いになりました。そうしたこと�이多くなりました。そうした中、自分の研究の原動力というのは「驚き」であつたと思い至りました。現代日本人の私がチベットというフィールドで出くわすことは驚きとか衝撃ばかりでした。それらを他の人に伝えたいと思ふとして提出してきたわけです。しかし、研究としてでは伝えがたい驚きもあります。私は古代チベットの専門家ですので、それ以外のことを研究として書こうとするのは冒険、もしくは不可能となるからです。自分の心に藏し続けてきた驚きは少なくはありません。しかし、それらをどこにも表出しないというのもつた

ないように思えてきました。
20年以上も前になつてしまいま
すが、我が研究所の機關紙『東方』
15号は中村元追悼号でした。中村
先生の全論著の目録が掲載された
のですが、そのおびただしい論著
数には驚かされたものでした。論著
の種類もかなりヴァラエティ
に富んでおりまして、大分な研
究書から小エッセイの類まで様々
がありました。中村先生はとにかく
書き残しておくことを重視なさ
ったのがわかります。おそらく、
意義があると感じたものに出会つ
たならば、即書くという姿勢でい
らしたのではないでしょうか。私
が今取るべきはそのような姿勢で
あり、今までやつてきた専門的な
研究はそれとして継続しつつも、
冒險的な研究に挑むなり、アカ
デミック・エッセイをも書くなりし
て、人に知らせるべき驚きを表出し
ていこうと、この新年は考えており
ます。

いしかわ いわお

1968年宮城県生まれ。中央大学大学院単位取得退学後、東方研究会（現中村元東方研究所）専任研究員。近著として『性愛と暴力の神話学』（晶文社）がある。



令和4年10月7日（金）開催

中村元東方學術賞・ 中村元東方學術獎勵賞 授賞式

於インド大使館

公益財団法人中村元東方研究所の顕彰事業の一環として、第32回中村元東方學術賞及び、若手研究者に贈られる第8回中村元東方學術獎勵賞の授賞式が、インド大使館オーディトリアムにて、2年ぶりに開催されました。



藤井教公理事長

なお、2022年は日印国交樹立70周年・インド独立75周年の記念すべき年であり、祝意を表して本式典をこれらの記念行事との協賛としております。

吉田宏哲博士
『大日經』と
漢訳

また、吉田宏哲大正大学名誉教授が、中村元東方學術特別顕彰を受賞しました。吉田宏哲博士の研究は、

「大日經」との比較対照を基盤とするもので、「大日經」に関する精緻な研究から、更に弘法大師思想の形成を研究して成果を挙げたことが授賞の理由です。

ですが、同氏は、ご自身の専門領域を「仏教文化史」と記されているように、これまで同氏が積み重ねてきた論文も、その対象地域はインド、ネパール、チベットと幅広く、内容も大乗佛教、密教、ヒンドゥー教などの広範囲に亘っています。このことは中村元博士が仏教・インド哲学を思想的にも地理的にも世界的な視野において捉えられたこととよく相応するという点も評価されました。

藤井教公理事長より、「中村元東方學術賞」、H.E. Sanjay Kumar Verma 駐日印度國特命全權大使より、「功績證明書」が授与され、和田壽弘名古

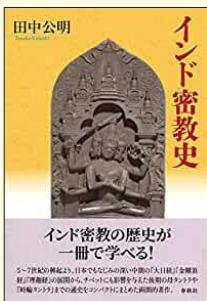


藤井教公理事長より、「中村元東方學術賞」、H.E. Sanjay Kumar Verma 駐日印度國特命全權大使より、「功績證明書」が授与され、和田壽弘名古

新刊案内

田中公明著 『インド密教史』

文献資料に加え、最新の考古学的知見を取り入れ、インド密教の原初形態が現れてから、『大日經』『金剛頂經』の成立を経て、チベット・ネパール密教の源流であるインド後期密教に至るまで、その歴史的展開を一冊でたどれる格好の概説書。



単行本：300頁
出版社：春秋社
発売日：2022年10月28日

ISBN-13：978-4-393-13458-0
言語：日本語
定価：3,300円（税込）

屋大学名誉教授ならびに藤田隆乗
大本山川崎大師平間寺貫首から祝
辞が述べられました。

また、若手研究者を対象とした、
第8回中村元東方学術奨励賞を受
賞した、西田彰一氏（国際日本
文化研究セン



西田彰一氏

タープロジェ
クト研究員）
の『躍動する
「国体」観克彦
の思想と活動』は「観克彦」という
思想家の生涯と思想と行動の全貌
をはじめて総合的・本格的に調査
検討した労作であり、間違いなく
今後の覧に関する基礎文献にな
る重要な成果』として将来性を
期待されての授賞です。



授賞式には、
101名の出席
者があり、各々
の受賞者を讃え
ました。なお、
例年インド大使
館で開催され
おりました祝賀

会は新型コロナウイルス感染拡大
のため、中止となりました。



【今後の行事】

★法恩寺佛教文化講演会

高松市の法恩寺と共催の、芸
術や仏教文化に関する講演会で
す。申込者はどなたでもご参加
いただけます。

【開催時期】令和5年5月中旬

【会場】法恩寺（香川県高松市
鹿角町）

【講師】未定

※詳細は決まり次第、ホームページ
等でお知らせいたします。

★神儒仏合同講演会

神田神社、湯島聖堂と共催の
講演会で、申込者はどなたでも
ご参加いただけます。

【開催時期】令和5年7月下旬

【会場】神田神社祭務所ホール

【講師】未定

※詳細は決まり次第、ホームページ
等でお知らせいたします。

★東方学院・酬仏恩講講演会合 同講演会

奈良・薬師寺と東方学院共催
の講演会で、申込者はどなたで
もご参加いただけます。

【開催時期】令和5年11月下旬

【会場】奈良薬師寺 まほろば
会館

【講師】未定

※詳細は決まり次第、ホームページ
等でお知らせいたします。

2023年度東方学院の 受講申し込みを受付中

4月から開講する東方学院の
受講申し込みを現在受付中で
す。オンライン科目も増強して
お申し込みをお待ちしております。

パンフレットをご希望の方
は、お気軽にご連絡をお願いい
たします。また、東方学院ホー
ムページ（<https://www.tohogakuin.org>）でも詳細をご案内
いたしておりますので、ご参照
いただけましたら幸いです。

新 刊 案 内

グレゴリー・ショーペン著・渡辺章悟監修・訳 『インド大乗仏教の虚像と断片』

この四半世紀でもっとも影響力のある仏教学者と評されるグレゴリー・ショーペン。彼の手にかかると、経典の何気ない一節が、ありふれた寄進碑銘が、ほとんど注目されない仏典が、新たな相貌を見せ始め、インド仏教の生きた世界を語りだす。【虚像】では、初・中期大乗の一般的な展開を検討する（第1章から第6章）【断片】では、碑銘・考古学・美術の史料を検討して、インド仏教の生きた世界の一端を紡ぎだす。（第7章から第14章）

単行本：460頁

ISBN-13：978-4-336-07338-9

出版社：国書刊行会

言語：日本語

発売日：2022年12月16日

定価：本体13,200円（税込）



事務局通信

【編集部より】 東方だよりは、読者の皆様からのご意見・ご要望をいただき、よりよい誌面にしていく所存です。また、ご寄稿もお待ち申し上げております。尚、ご連絡は手紙、メール等（宛名面に「東方だより編集部宛」とご記入願います）にて承っております。

当研究所の活動にご賛同下さる皆様へお願い

公益財団法人中村元東方研究所は、創立者中村元の理想を実現するため活動する非営利の文化事業財団であり、その運営はご理解ご協力いただけたる皆様からのご寄付により成り立っています。当研究所では各種会員を設定して、活動趣旨にご賛同いただけたる皆さまの積極的なご支援をお願いしております。

(1) 一般寄付

一般寄付は会費と異なり、金額や期限等を設定せずに、随時受け付けさせていただいております。
お寄せいただいた寄付金は、当法人が取り組んでいるさまざまな活動に広く活用させていただきます。

(2) 繼続ご支援（維持会員・賛助会員）

当法人の活動に賛同し、継続的に支援してくださる会員も随時募集しています。

- ・維持会費：一口 年 50,000円
- ・賛助会費：一口 年 10,000円

※上記いずれかをお選びいただき、出来れば複数口でご支援賜れば幸いです。

(3) 普通会員：年会費 7,000円

普通会員にも、維持・賛助両会員と同じく、定期刊行物『東方』の他、催し物、会合等のご案内をお送りいたしますが、年会費に税の優遇措置は適用されません。

【所得税の免税について】

当法人は内閣府の認定を受けた「公益財団法人」であり、さらに、令和2年3月27日に「税額控除」対象法人の要件を満たす証明書を内閣府より受けましたので、上記(1)(2)の一般ご寄付及び維持会賛助会の会費は、税制上の優遇措置を受けられます。①「所得控除」②「税額控除」のいずれか減税効果の高い方を選択できます。

多くの場合、「税額控除」を選択されると所得税額が少なくなり有利となります。一方、所得税率の高い方は、「所得控除」を選ばれると還付額が大きくなる場合もあります。確定申告の際には最寄りの税務署にご相談ください。

公式ホームページのご案内

東方研究所及び東方学院の公式ホームページでは、さまざまな情報が随時更新されております。是非ご覧下さい。

ホームページ URL : <http://www.toho.or.jp>

中村元東方研究所

検索

- ▶当研究所の目的・理念・あゆみ
- ▶中村元博士の略歴・著作文献目録
- ▶東方学院（開講科目、講師紹介、著書紹介）
- ▶専任研究員紹介、書籍案内
- ▶公開講座、イベントのお知らせや開催レポートなど

東方学院専用ホームページ URL :

<https://www.toho-gakuin.org>

（スマートフォン対応）

東方学院

検索

- ▶東方学院の開講科目や講師の紹介、開講日などをご案内しております。

東方だより 令和4年度後期号（通号第41号）

令和5年2月14日発行

【編集／発行】公益財団法人中村元東方研究所 本部事務局

編集責任者：釈悟震

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-2 延寿お茶の水ビル4階

TEL:03-3251-4081 FAX:03-3251-4082